

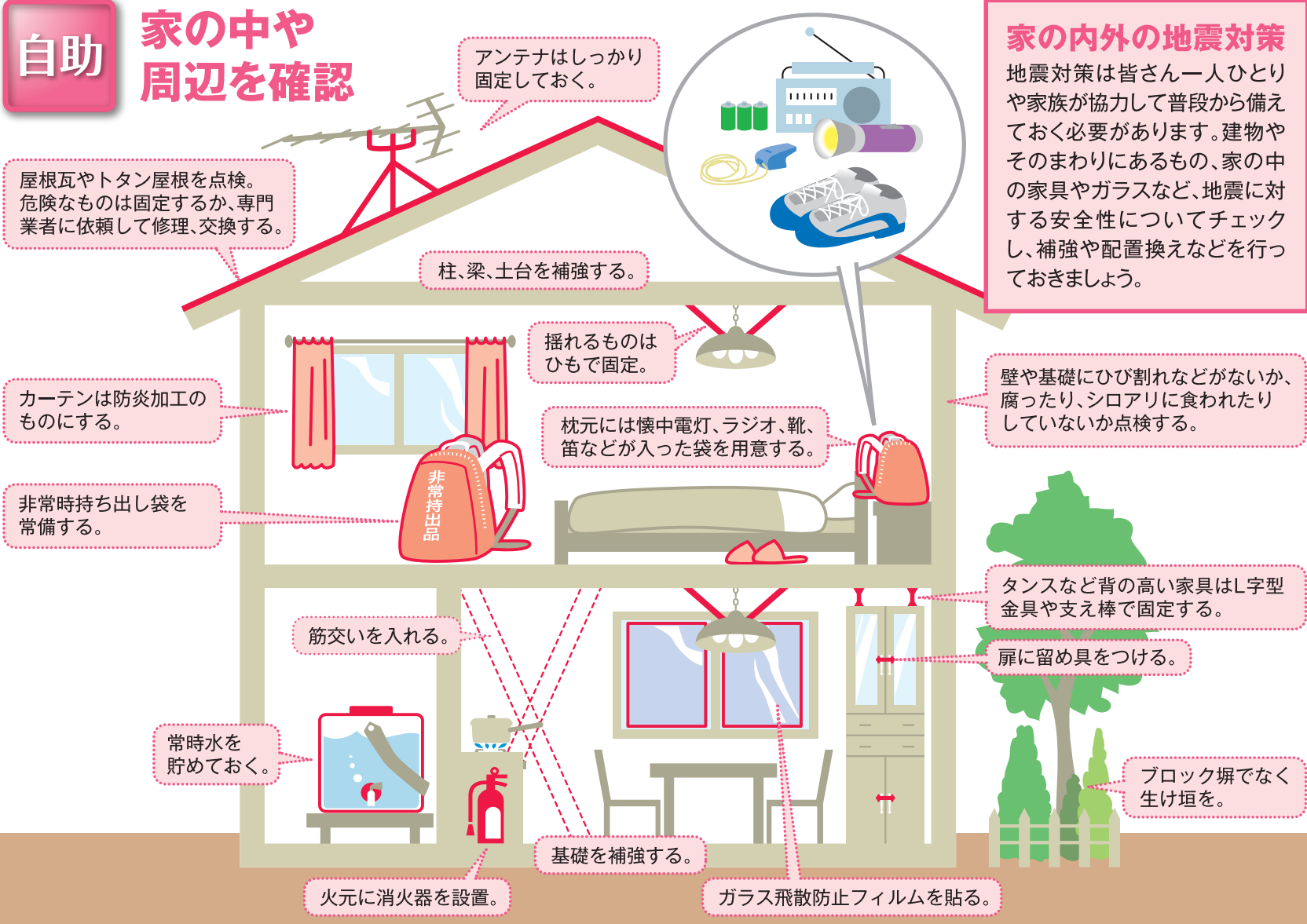
4-1 みんなで防災について考えましょう

地震や津波、水害が発生したときの行動や役割を家族で話し合しましょう。

- その① 家の中や周辺を確認しましょう ⇒ **下図へ**
- その② 避難所や避難経路を確認しましょう ⇒ **あなたが作る防災マップへ(P17・18)**
- その③ 家族の連絡方法や非常持ち出し品を確認しましょう ⇒ **裏表紙へ**



自助 家の中や周辺を確認



家の内外の地震対策

地震対策は皆さん一人ひとりや家族が協力して普段から備えておく必要があります。建物やそのまわりにあるもの、家の中の家具やガラスなど、地震に対する安全性についてチェックし、補強や配置換えなどを行っておきましょう。

共助 助け合いのころ

災害が発生したとき、助け合いのころはとても大切です。自分の力だけで避難ができない人や逃げ遅れた人を見かけたら、みんなで協力して避難しましょう。

高齢者や傷病者

- 複数の人で対応します。
- 緊急のときはおぶって避難します。



車いすを利用している人

- 階段では2人以上で援助を。上りは前向き、下りは後ろ向きで移動します。
- 救援者が1人の場合はおんぶひもなどを利用し、おぶって避難を。



目の不自由な人

- つえを持つ手と反対側のひじのあたりに軽く触れるか、腕や肩をかけて半歩くらい前をゆっくり進みましょう。
- 階段などの障害物を説明しながら進みましょう。



耳が不自由な人

- 口を大きく動かし、はっきりと話しましょう。
- 身振りや筆談などで、正確な情報を伝えましょう。



外国人

- 身振り手ぶりで話しかけ、孤立させないように。



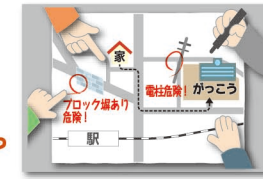
4-2 あなたが作る防災マップ

マップの活用方法

災害時にすまやかに避難することができるよう、この防災マップを活用し、事前に避難所や避難経路について家族や地域で話し合っておきましょう。

防災マップの作成方法

- Step ① 自宅の位置を確認しましょう
- Step ② 近くの避難所にマークをつけましょう
- Step ③ 避難ルートを複数確認しましょう
- Step ④ 実際に避難ルートを歩き、危険なところや注意するところを確認しましょう
- Step ⑤ 実際に歩いて確認した結果をマップに書き込みましょう



いざという時のために避難所や家族の集合場所、避難するときの注意箇所などを書き込んでおきましょう!

■避難所

■家族の集合場所

■避難するときの注意箇所

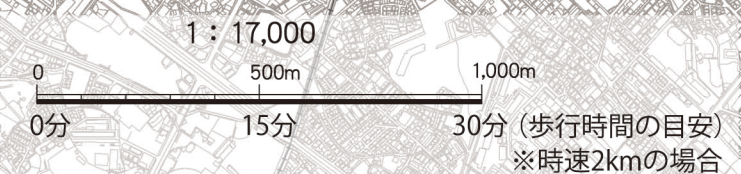
凡例

- 一次避難地
- 避難所
- 市役所
- 警察
- 消防署
- 病院
- 市指定避難路

災害時の歩行時間

災害時には通常より歩行に時間がかかります。この防災マップや津波ハザードマップ、洪水ハザードマップには、東日本大震災の徒歩平均避難速度を参考に、スケールと合わせて「歩行時間の目安」を記載しています。

※東日本大震災徒歩 平均避難速度 時速2.3km
 出典:国土交通省都市局
 「東日本大震災の津波被災現況調査結果(第3次報告)」
 (平成23年12月26日)



【一次避難地】

災害が発生した時など危険回避のために一時的に避難する場所

名称	住所
東雲公園	東雲町地内
穴師公園	池浦町3丁目地内
蛙田公園	千原町2丁目地内
古池公園	曾根町3丁目地内
三十合池公園	我孫子地内
助松公園	助松町4丁目および松之浜町1丁目地内
戎町公園	戎町地内
信太高校グラウンド	和泉市葛の葉町3丁目6番8号
泉大津高校グラウンド	北豊中町1丁目1番1号

【避難所】

災害で家屋が倒壊、焼失・流失して住む家を失った人などが一時的に避難生活を送る場所

名称	電話番号	住所	備考
戎小学校	21-2000	河原町3-7	津波避難ビル
旭小学校	21-2002	昭和町2-27	津波避難ビル
穴師小学校	21-2004	我孫子1-12-10	
上條小学校	21-2006	東助松町3-13-1	津波避難ビル
浜小学校	21-2008	小松町5-6	津波避難ビル
条東小学校	21-2012	千原町2-12-1	
条南小学校	21-2022	宮町9-1	
楠小学校	22-0051	我孫子2-4-7	
東陽中学校	33-5461	池浦町4-4-1	
誠風中学校	33-5761	池浦町4-1-1	
小津中学校	22-6501	助松町2-13-1	津波避難ビル

1 はじめに
2 地震編
3 水害編
4 共通編

1 はじめに
2 地震編
3 水害編
4 共通編